

評議会だより

第四〇回評議会

平成五年十月五日(火)

(新評議員の紹介)

文学部

教授 米谷 巖

医学部

教授 穂下 剛彦

〃 武田 誠郎

(教員選考報告)

総合科学部

教授 齋藤 忠資(ヨーロッパ研究)

〃 原 正幸(比較文化研究)

〃 岩田 賢司(社会文化研究)

〃 間瀬 茂(情報行動基礎研究)

〃 安藤 正昭(人間行動研究)

〃 成定 薫(基礎科学研究)

〃 星野 公三(基礎科学研究)

〃 上原 麻子(英語)

〃 西田 正(英語)

〃 新畑 茂充(保健体育)

〃 柳澤 浩哉(日本研究)

〃 吉田 光演(ドイツ語)

〃 山崎 修嗣(社会文化研究)

〃 坂越 正樹(教育哲学・教育史)

〃 深澤 広明

(教育社会学・教育方法学)

〃 中山 富廣(社会科教育学)

〃 講 師 藤川 信夫(国語教育学)

学校教育学部

教授 森田 信義(言語教育)

〃 岩崎 文人(文学)

〃 山梨 正雄(障害児教育)

〃 助教授 前原 俊信(理科教育)

〃 濱本 恵康(音楽教育)

法学部 助教授 牧野 雅彦(政治)

理学部

教授 久保 泉(確率論)

医学部

助教授 北村 繁幸(社会薬学)

歯学部

講師 森田 克也(歯科薬理学)

工学部

助教授 石原 照也(電子物性工学)

教授 永村 和照(機械設計工学)

〃 金子 真(計数管理工学)

〃 米倉亜州夫(建設構造工学)

〃 助教授 川路 均(応用化学)

以上の報告があり、これを了承した。

第四一〇回評議会

平成五年十一月九日(火)

(本部新任者の紹介)

留学生主幹 刈屋 悌二

(前放送大学学園教務部学習センター課 課長補佐)

(教員選考報告)

総合科学部

助教授 佐久川 弘(自然環境研究)

理学部

助教授 宮本 隆實(地球環境進化学)

歯学部

助教授 高田 隆(口腔病理学)

工学部

教授 渡邊 敏正(回路・システム工学)

〃 助教授 森脇 武夫(建設構造工学)

以上の報告があり、これを了承した。

(学長補佐の指名報告について)

総合科学部 教授 戸田 吉信

(大学院の整備充実担当)

理学部 教授 牟田 泰三

(自己点検・評価担当)

以上の報告があった。

(報告)

一、中国・四国地区国立大学長会議について

十月十九日、二十日に徳島大学において開催された中国・四国地区国立大学長会議の概要について報告があった。

二、大学設置基準等の改正に伴う学部の教育の整備と改善について

十月二十二日開催の教務委員会では承された平成六年度から実施する新教育課程案等について、報告があった。

三、広島大学大学院国際協力研究科発足準備委員会要項の制定について

十月二十六日付けで制定した旨報告があった。

四、広島大学教室系技術職員の組織等に関する取扱要項の制定について

十一月九日付けで制定し、平成六年四月一日から施行する旨報告があった。

五、広島大学統合移転完了記念事業実行委員会要項の制定について

十一月九日付けで制定した旨報告があった。

六、広島大学バイオロンセンター設立準備委員会要項の廃止について

十一月九日付けで廃止した旨報告があった。

七、広島大学と連合王国リズ・メトロポリタン大学との間の学術・教育交流に関する協定の締結について

十月二十一日付けで調印された旨報告があった。

八、工学部とアメリカ合衆国ミシガン大学工学部との間の交流事業に関する協定の締結につ

いて 十月二十五日付けで調印された旨報告があった。

(議事)

一、学内共同教育研究施設の管理運営組織について

現行の管理委員会と運営委員会を統合することについて承認した。

二、学部の学位記授与式・入学式に関する申し合わせについて

原案のとおり承認した。

#学長補佐とは

平成三年二月十一日の評議会の申し合わせで学長補佐をおくことができるようになった。大学改革のためこの制度を利用したい、というのが学長の説明である。これに対して「学長補佐をおくのは、当面の間と記憶している。おのちに反対ではないが、制度化する方向で一度評議会で審議したほうがよい」という意見もあり、今後評議会で制度化の審議が行われる方向。現在の学長補佐は学内措置で、事務分掌上の権限や給与上の手当は一切ない一種のボランティアであり、新設単科大学などの副学長とは異なる。

#バイオロンセンターの設立断念へ

バイオロンは完全に人工的に制御された環境下で、動植物を育て観察や実験を行うもの。水域を再現したアクアトロン、動物を対象にしたズートロン、昆虫を対象にしたインセクトロンなどがある。

これらを総合したバイオロンの創設を目指して、昭和五十七年以来、広大バイオ